

## 魅力ある都市環境のまちづくり部会 第1回摘録

日 時：平成21年6月22日（月）11：30

場 所：右京区役所 5階 大会議室②

出席者：土井部会長，石川委員，石田委員，  
大西委員，新妻委員，山下委員

委 員 ○ この部会で検討する課題は、幅広いものなので、課題を絞る必要がある。

部会長 ○ いろんな問題を出し合ってから絞っていききたい。

委 員 ○ まちづくりの課題はひとつの学区だけの問題ではなく、右京区として必要な問題を共有することが必要である。きめ細かく議論をしていきたい。

部会長 ○ この部会を選んだ理由をお話してください。

委 員 ○ 今後のまちづくりにとって、道路の問題ははずせないしアクセス問題には関心がある。

○ 道路問題に関心がある。御池通の西伸や桂川街道等の幹線道路問題。アクセスでいうと、右京区だけでなくほかの行政区との関係もある。クリーンセンターに続く国道162号では、京北と市内とが結びついていく。

162号を中心とした愛宕のネックレス構想が必要であるし、水尾・宕陰・京北がお互い結びついていくことが必要である。

○ 住んでいる人が快適に移動できる幹線道路の整備が必要である。

梅津街道の問題では、もっと住民意識を高く持つ必要や自治会組織などのリーダーシップが必要と思うが、予算面から難しいこともあるのではないかと。都市計画決定が行われ、何十年もそのまま良いのかと思う。

○ 緑と水も考えたい。公園は作れても、自然はなかなか元には戻らない。

○ 私の住んでいる地域はよい所であり、この思いを計画に生かしたいし、次の世代に住んでいて良かったなということを伝えていきたい。

3つの部会の中で、「魅力ある」といったフレーズに魅かれた。「現在や未来の魅力は何か」が共有できたらと思った。

- 設備がいろいろと開発され、環境問題の中で配慮して作られているし、車社会が衰退していくことを考えて計画を作る必要がある。

部会長 ○ まちづくりは交通を欠かして語れない。  
今後 10 年間の基本をしっかりと決めていく中で、幹線道路は必要である。  
しかし、それは車のためではなく渋滞を解消させるためでもなく、安心安全に街を楽しむために幹線道路が必要である。  
クルマから公共交通に転換させるために進めていきたいし、公共交通がもっと使いやすい方向なら良いと思う。

委員 ○ 人口が減ると車が減る。クルマが必要でなくなってくるのではないか。お年寄りが安心安全な街を考える必要がある。

部会長 ○ クルマが要らないということではない。3割の人たちは必要なのである。  
その他の人たちは公共交通が必要であり、充実しなくてはならない。  
京北ももっと行きやすくする必要がある。  
ヘリコプターも必要である。

委員 ○ 核家族になり3世代の家族はいなくなり、親子しか住まなくなっているし、京北では仕事が少なく、都会に住むので人口が減ってきている。

部会長 ○ 嵐電は西院（さい）、阪急は西院（さいいん）、バスが西大路四条と同じ場所なのに呼び方が異なっている。せめて同じにしたら良いのと思う。

委員 ○ いろんな所に夢みたいなお話でも話を持っていかねば実現していかない。

- 地域によって発言力の差がある。

- クルマ問題では、嵐山交通実験も行なわれている。

部会長 次回もいろいろと課題を出し合いたい。

◆第2回 魅力ある都市環境のまちづくり部会

日時：平成21年8月10日（月） 18：30～

場所：右京区役所 5階 会議室1

内 容：前回に引き続き右京の魅力や課題についての項目を出し合い、  
部会のテーマを絞るとともに重要度や必要度に応じた課題整理を行なう。